

農村振興局長賞（被害防止部門（団体））

町会（集落）毎の捕獲や地理情報等を基に策定した市の計画に基づき、市内に「鳥獣被害対策サポーター」を配置。町会（集落）主体の対策マニュアル「市原市鳥獣被害対策『虎の巻』」を住民に周知し、住民参画による地域ぐるみの総合対策を実現。

市原市

（市長：小出 譲治）

千葉県市原市

主な取組

- 市は、将来的な捕獲の担い手の高齢化や減少を懸念して、平成21年度から町会（集落）毎に捕獲従事者を確保し、捕獲活動を開始。
- 平成27年度にアドバイザーの助言の下、町会（集落）毎の捕獲や地理情報等を基に、対策を行う「市原市イノシシ被害対策計画」を策定。この計画に基づき、捕獲に加え侵入防止柵の設置による防護や環境整備を組み合わせた総合的な対策を実施。
- 平成28年度に、鳥獣被害対策サポーターを配置し、鳥獣被害対策実施隊員の役割に加え、地域住民、市役所、アドバイザー等の情報交換や技術習得の講習会を行う活動など町会（集落）毎の対策の充実を図った。
- 平成29年度に町会（集落）主体の体制整備や各種対策のポイントなどを分かり易く解説した対策マニュアル「市原市鳥獣被害対策『虎の巻』」を住民に周知し、住民参画による地域ぐるみの総合対策を実現。

【市原市の農作物被害額

平成27年度：約4千6百万円→平成29年度：約2千6百万円】